

# 国際的・戦略的視点に立った質保証及び情報の収集・発信の主体となる機能の必要性について



【背景: 高等教育のグローバル化の進展】 ・多様化・複雑化するニーズ  
・世界各国の制度や高等教育機関に関する情報の収集・発信の機会の拡大

- ・ 学生／教員の移動・交流の拡大
- ・ JD・DD等教育連携の拡大
- ・ 質保証や学修成果可視化への要請
- ・ 単位互換など地域単位のルール化
- ・ NQF等、教育資格枠組みの検討の進行
- ・ 各種世界大学ランキング 等



- ・ 日本人学生：正確な留学先の情報が欲しい
- ・ 外国人留学生：日本の大学の詳細を知りたい
- ・ 日本の大学：外国人受験者の応募資格の是非を確認したい
- ・ 外国大学：日本の学生の卒業資格を確認したい
- ・ 企業：学生の学びの成果を可視化して欲しい

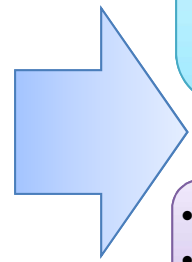
【現状】 ・積極参加によるReputation向上 ・積極参加による貢献 ・プレゼンス向上  
⇒ ・現場ニーズの増大 ・一元的情報の不在 ・大学個々の努力の限界



- 【大学】
- ・ 諸外国の教育制度及び機関情報の入手
  - ・ 我が国の制度や大学の機能別類型の説明
  - ・ 資格の真性の見極め (Credential Evaluation)
  - ・ 渡日前入試体制の充実 等



- 【文部科学省】
- ・ 各種国際化施策の積極推進
  - ・ 留学生30万人計画、日本人留学倍増12万人計画
  - ・ UNESCO地域条約とNIC
  - ・ ASEAN+3と質保証機能充実 等



- ・ 優秀な外国人留学生の獲得、レベルの高い外国大学との連携を進めたいが、情報が不足。
- ・ 外国人留学生は増やしたいが、母国の多様化によって現地の制度や大学の情報が少ない
- ・ 各国大使館や在外公館にその都度照会している
- ・ 経験豊富な職員の知見に頼っている 等

- ・ 変化する国際動向、各国制度への対応
- ・ 質保証への国際的要請への対応
- ・ 知見の蓄積と一元化、人的ネットワーク形成

# 国際的・戦略的視点に立った質保証及び 情報の収集・発信の主体となる機能の必要性について



## 【検討すべき課題】

- 今後、政府・大学にとって戦略的に必要となる情報には、どのようなものがあるか。
- 今後、政府・大学が強化して発信すべき情報は、どのようなものがあるか。
- 今後、戦略的に情報収集機能を強化する場合、どのような地域を対象とすべきか。
- 今後、政府・大学が戦略的に情報収集・発信するために必要となる機能には、どのようなものがあるか。



	情報の発信			情報の収集		
	制度・政策	機関の情報	資格の真性	各国の政策	機関の情報	資格の真性
大学		○	○	○	○	○
学生			○		○	○
企業					○	○
政府	○	○	○	○		